

# Paint Shop Proで彫り進み版画－授業編

Paint Shop Proを使って彫り進み版画を作成しましょう。消しゴムで線を削るようにして描き、レイヤーという機能を使って色も重ねていきます。では、彫り進み版画に挑戦してみましょう。

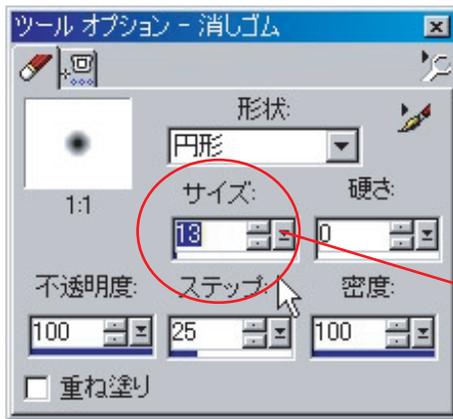
1. 絵を開く（ここでは用意された下絵を利用する方法について説明します。）  
PaintShopProを起動したら、下絵を開きましょう。メニューから「ファイル」→「開く」と進んで、開きましょう。



まず、ツールパレットから消しゴムツールを選びます。  
次に、消しゴムの太さを変化させるために、ツールオプションパレットを見ておきましょう。



2. ツールオプションパレット  
ツールの細かな設定は、ツールオプションパレットを使って行います。



特にサイズ変更は良く利用しますので、しっかり覚えて下さい。サイズを変えたいとき、下三角印のところをクリックすると下のようなスライダーが出ます。マウス左ボタンを放さないでドラッグすると数字が変化します。



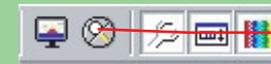
**必要なパレット**  
彫り進み版画に必要なパレットは、「ツールパレット」「ツールオプションパレット」です。うっかり×を押して消してしまったりすることがあり、表示されていないことがあります。そんな時は、「標準ツールバー」のボタンをクリックして表示させてください。（もう一度押すと消えます。）



——— ツールオプションパレットの表示非表示  
——— ツールパレットの表示非表示  
——— カラーパレットの表示非表示  
実寸表示

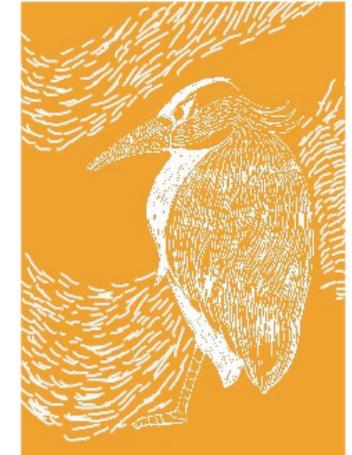
**表示の切り替え**  
一部を拡大して描いたり、全体をながめてみたりを切り替えるには、倍率を変更します。

- **Ctrl + +** 「Ctrl」キーと「+」キーの同時押し → 拡大
- **Ctrl + -** 「Ctrl」キーと「-」キーの同時押し → 縮小



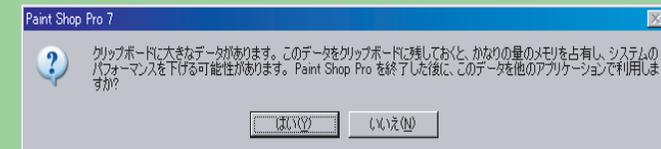
実寸表示

3. 線を削る  
ツールオプションパレットで、消しゴムの太さを調整したら、絵を削っていきましょう。消しゴムの太さで「強弱」を表現して、「線の向き」や「長さ」で変化を付けていきましょう。



**トラブルではありません！**  
次のページの「4」以降の操作を行った後、PaintShopProを終了しようとするすると下のようなメッセージが表示されます。これは、コピーを行った時に表示されるもので、コピーするときクリップボードというところに作った作業用のデータをどうするか聞いているものです。普通別のソフトで利用する事はありませんので、「いいえ」でクリップボードのデータを消して下さい。

\* この操作と保存とは全く関係がありません。ファイルの保存は別に正確に行ってください。

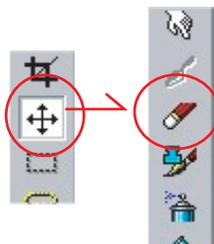


4. 新しいレイヤーをつくる  
今描いた絵をもとにして二色目のための新しいレイヤーをつくりましょう。

メニューから  
「選択範囲」→「全て選択」  
「編集」→「コピー」→「編集」→「貼り付け」→「新しいレイヤー」

と進んで下さい。

注) この操作のあと自動的にツールが移動ツールになってしまい、うっかり画像の上でマウスやタブレットを動かすと2枚の絵がズれてしまいます。  
すぐに消しゴムツールに戻しておきましょう。



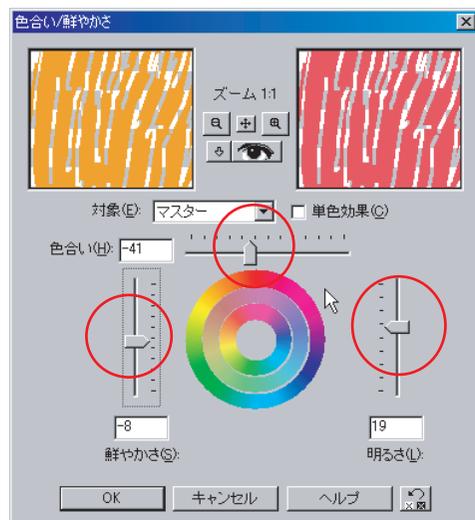
新しいレイヤーができたかどうか  
それは、画像の上のウインドタイトルを見ればわかります。



操作を行った後は、「レイヤー-1」が「レイヤー-2」になっています。

5. 新しいレイヤーの色を変える

メニューから  
「カラー」→「調整」→「色合い・鮮やかさ」と進みます。  
下の図のようなウインドウが開きますので、「色合い」や「鮮やかさ」、「明るさ」を変えて別の色に変えて下さい。



「OK」を押すと、色が変わります。



6. レイヤー-2を削る

1色目と同じように、ツールオプションパレットで、消しゴムの太さを調整したら、絵を削っていきましょう。レイヤー-2を削るとその下にはレイヤー-1があるので、下の色が出てきます。



7. 3色目以降

このテキストの「4」～「6」を繰り返せば、何色でも加えて行くことができます。(ただし、削るところがなくなればそれ以上はできません。)



上手にできるコツ!

○前に削った部分を別のレイヤーでも削ってみよう。  
(色が混ざったようになります。)

○レイヤー毎に色のポイントを決めよう  
(ある部分を集中的に削ると色がはっきりします。)

○線の長さ、太さ、向きを変化させて削ろう。  
(絵が生き生きとしてきます。)

○全く削らない部分をなるべく少なくしよう。

出来上がったら必ず保存して終了します。